

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1】

|      |        |   |
|------|--------|---|
| 授業作り | 重<br>点 | 個に応じた指導の充実を図るとともに、児童の表現力を高め、児童相互の学び合いを中心とした主体的、対話的で深い学びをつくる指導方法の在り方を探る。                   |
| 環境作り |        | ユニバーサルデザインに配慮し、全ての児童が主体的、対話的で深い学びを行うことができる学習基盤をつくる。学習や生活ルールを統一し、全ての児童が安心して学習に臨める環境作りを目指す。 |

■ 学年の取組について

| 学<br>年      | 学習状況の分析<br>(各種調査から)   | 学校が取り組む目標<br>(日常の授業の様子から)   | 目標達成のための取組  |
|-------------|---|---|---|
| 1<br>学<br>年 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を正しく記述し、語句の意味を捉えて表現できる力の育成が必要である。また、個々の学習意欲を高め、読む活動を充実させる必要がある。</li> <li>・数の構成の特徴を理解させ、加法・減法などの基礎基本の定着が必要である。</li> <li>・分かったことや気付いたことを自分なりの言葉で表現する力が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタル教科書やタブレット端末など、ICT機器の活用</li> <li>②ワークシートによる繰り返し学習</li> <li>③教科書の音読や音読カードの活用</li> <li>④作業的な学習の充実</li> <li>⑤ペア学習やグループ学習などの学習形態の工夫</li> </ul> |
| 2<br>学<br>年 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字学習への意欲は高いが、既習の漢字を文章の中で使うことに課題が見られる。また、拗音、促音を正しく使うことに課題がある。書く活動を日常的に取り入れ、個別に指導を行う必要がある。</li> <li>・加法、減法の計算はおおむね身に付いているが、繰り上がり、繰り下がりのある計算につまずいている児童が見られる。タブレット端末のデジタルドリル等を利用して、反復練習を行い、基礎基本の計算の定着を図る必要がある。</li> <li>・話すことを楽しみ、意欲の高い児童が多いため、授業中に対話的交流の場を多く取り入れ、さらに自分の思いや考えを明確に話すことができる力の育成が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①教科書の文章や詩の視写</li> <li>②週末の日記の課題など「書く」活動の充実</li> <li>③デジタルドリルの活用</li> <li>④日々の基礎的な計算練習の充実</li> <li>⑤定規、三角定規等の道具の使用する活動の充実</li> </ul>            |
| 3<br>学<br>年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことや想像したことをもとに自分の考えを書くことに課題が見られる。</li> <li>・文章問題で加法と減法を適用して解くことに、課題が見られる。</li> <li>・答えは分かっても、求め方を説明することに苦手意識のある児童が多い。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書くことに慣れるため、短い日記を書く時間を毎日設定する。</li> <li>・学習内容の定着が難しい単元は、授業や家庭学習において、タブレット端末の東京ベーシック・ドリルに繰り返し取り組ませ、定着を図る。</li> <li>・算数で使う用語を使って、問題の求め方を説明できるように繰り返し指導する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①1～3行日記の取り組みなど「書く」活動の充実</li> <li>②東京ベーシック・ドリル、デジタルドリルの活用</li> <li>③算数用語の掲示</li> </ul>  |

|                      |  |  |   |
|----------------------|--|--|---|
| <p>4<br/>学<br/>年</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み取る力の向上が必要である。</li> <li>自分の意見や考えを表現する力の向上が必要である。</li> <li>基礎学力の向上が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>国語では、叙述をもとに内容を読み取る力の育成が必要である。</li> <li>伝えたいことを明確にし、自分の考えとそれを支える理由を表現する力の育成が必要である。</li> <li>漢字や言語への理解、計算力の向上が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①東京ベーシック・ドリル等、デジタルコンテンツの活用</li> <li>②読書環境等の整備</li> <li>③国語辞典、漢字辞典の積極的な活用</li> <li>④考えや意見の文章化や話し合い活動など、相手に伝える機会の設定</li> <li>⑤基礎的な漢字、計算練習への日常的な取り組み</li> </ul>     |
| <p>5<br/>学<br/>年</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や考えを論理的に組み立てて表現する力の向上が必要である。</li> <li>根拠を基に立式したり、式が表す場面を正しく理解したりすることが必要である。</li> <li>既習事項を活用する力の向上が必要である。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>新出漢字や語句の習得をし、目的に合わせて自分の意見や考えを表現する力の育成が必要である。</li> <li>立式からその意味を読み取り、理解する力や正確に計算できる力の育成が必要である。</li> <li>学習した内容を、生活の場面で生かしていく力が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①新出漢字の習得のための辞書の活用</li> <li>②東京ベーシック・ドリル、デジタルドリルの活用</li> <li>③自分の考えを組み立てて書く機会の設定</li> <li>④基礎的な計算問題の反復練習の充実</li> </ul>  |
| <p>6<br/>学<br/>年</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容を正確に読み取るために、より多くの語彙を獲得したり、基本的な文章構成を理解したりすることが必要である。</li> <li>既習事項の習熟が不足していたり、基本的な演算力に課題があったりすることで、解法を見つけれないことがあるため、既習事項を活用する力の向上が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>読書活動に取り組んだり、モデル文を用いながら実際に文章を書いたりすることで、基本的な文章構成で書く力や正確に文章を読む力を育成することが必要である。</li> <li>自力解決の時間を十分に確保する。解法を交流する際は、ペアや全体など様々な形の交流を取り入れ、解法の説明の仕方を互いに学び合えるようにすることで、既習事項を活用する力を育成していくことが必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①東京ベーシック・ドリル、デジタルドリルの活用</li> <li>②読書等の環境整備と新聞等の活用</li> <li>③スピーチ、考えや意見を文章化する機会の設定</li> <li>④基礎的な計算練習への日常的な取り組み</li> <li>⑤三角定規、分度器、コンパスなどの道具を使用する活動の充実</li> </ul> |